

Photo Yaotsu



ラモス瑠偉ふれあいサッカー教室

この教室は、県主催による「ラモス清流の国づくり夢プロジェクト」として、スポーツを通じた地域交流の促進と地域の絆づくりを目的とし、未来を担う子ども達を対象に県内各地で開催されているものです。

今回は、町内在住の小学生100名を対象として開催され、ラモス氏の華麗なテクニックを間近で見たり、ユーモアたっぷりのトークやプレイで会場は拍手が湧き起こるなど大盛り上がりとなりました。



▲ 憧れのラモス監督のサッカー教室にみんなドキドキ

またラモス氏は同教室の前に杉原千畝記念館にも訪れ、館長から説明を聞きながら『命のビザのレプリカ』などを興味深そうに見学し、「杉原さんは日本の誇りです。すごい人だ、来て良かったと思っています。」と感心していました。



八百津高校生が選挙事務に従事

町防災センターに設けられた参議院議員通常選挙の期日前投票所で、八百津高校3年生の3名が投票の受付係を務めました。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから、高校生に選挙を身近に感じてもらうと、町の選挙管理委員会が初めて企画しました。生徒らは、訪れた人に選挙日当日に投票できない理由を確認し、宣誓書を記入してもらうまでの作業を丁寧に説明していました。



▲ 投票者に丁寧に説明をする曾我さん

事務に従事した曾我さんは、「複雑な手続きがあって、一票の重みを感じました。自分が投票する時は、公約をよく見て、若者の意見を取り入れてくれる人に投票できるように考えたいです。」と話していました。



「水素社会の実現に向けた産学官連携協定」を締結！

岐阜県庁において八百津町と岐阜県、岐阜大学、並びに榊清流パワーエナジー、森松工業㈱、ブラザー工業㈱の6者で、「水素社会の実現に向けた産学官連携協定」を締結しました。

この協定の中で、八百津町の役割として「研究開発・社会実験への実証フィールドの提供や、試作・事業における再生可能エネルギーの導入・活用、住民への普及啓発などを通じて積極的な協力を行う」としています。

また、7月29日には、八百津町に燃料電池自動車(FCV)のミライが納車され、これからの水素社会に向けたスタートが切られました。

今後、町内においても産官学が連携したさまざまな事業が展開されることとなります。



八百津の町中を燃料電池自動車「ミライ」が走っています▶